

# cMT-iPC15 シリーズ

## 取付説明書

### 1 取付概要

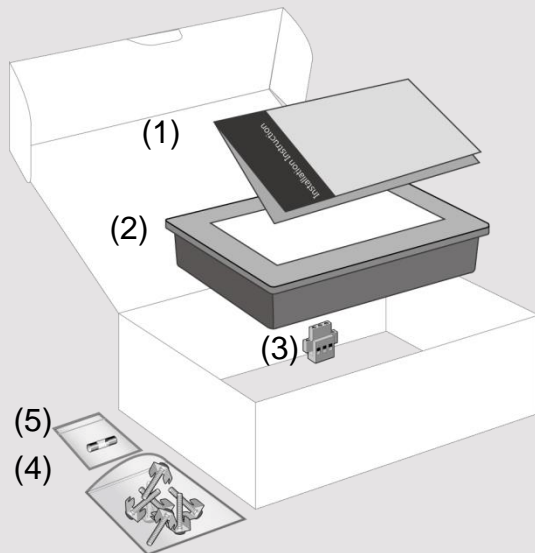
本文書は、あくまでも取付説明書であり、完全的な仕様及び操作方式に関しては製品カタログ及びユーザーマニュアルを参照してください。

#### 取付環境:

NEMA規格	cMT-iPC15シリーズのプログラマブル表示器は、NEMA 4規格を満たしています(室内にのみ適用する)。
電気環境	cMT-iPC15シリーズのプログラマブル表示器はCE認証検証テストを合格しました。即ち、製品の電気回路設計が電気雑音に抵抗できるが、全ての状況下でも対抗できるわけではありません。正確に配線と接地をすること。
環境	(1) 正確に使用できるように、強烈的な機械振動環境に本プログラマブル表示器を取り付けることは避けてください。 (2) 爆発の恐れがある場所、例えば引火性気体、蒸気、粉塵が存在する所に取り付けてはいけません。 (3) 酸性、SO2気体が存在する場所に取り付けてはいけません。 (4) 本製品を垂直に平らな平面に取り付けること。 (5) UL508 (ISBN 0-7629-0404-6) 規格を満たしているため、汚染度2の環境に適合します。

### 2 組立部品説明

包装を外して本体及び付属部品を検査してください。不具合がある場合、ご購入先に連絡してください。



#### 注意:

パネルの損壊を避けるため、取り付ける際には落下しないよう充分注意し、安定した平面に置いてください。

(1) 取付説明書 A4 両面 ×1

(2) プログラマブル表示器 ×1

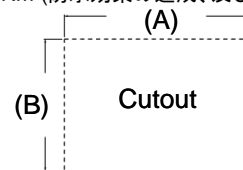
(3) 電源端子台 ×1

(4) ブラケット&ねじ ×1 パック

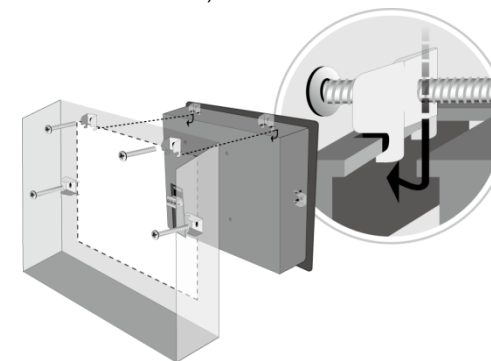
(5) ヒューズ 3.15A/250V 5×20mm ×1

### 3 取付説明

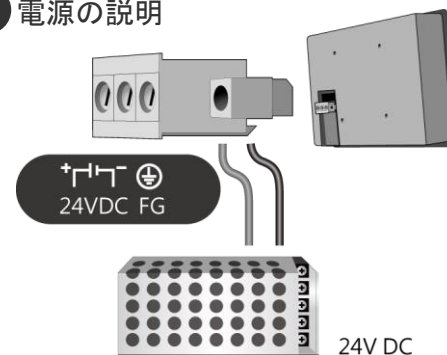
本製品を制御盤のパネルカットに入れ、背面から付属した取付ねじを締め付けます。ねじの締め付けトルク: 0.3 ~ 0.45Nm (防水効果の達成、及びカバーの歪曲を防ぐため)。



モデル	A(mm)	B(mm)
cMT-iPC15	352	279



### 4 電源の説明



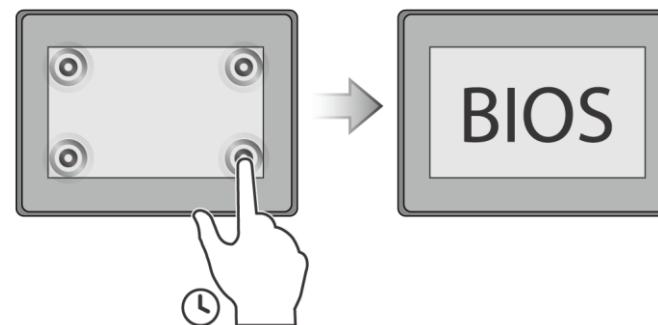
#### 注意:

1. 電源の正極を '+' と表記している端子に、負極を '-' と表記している端子に接続します。

### 5 BIOS設定

BIOS 設定画面に入るには、下記2種の方法があります:

- USB キーボードを接続し、起動する時に F2 キーを押します。
- 起動時、モニターの際に長く押します(四隅の内に任意の隅)。



## 6 Windows OSのインストール方法

1. USB ディスクプレーヤーを接続し、Windows OS インストールディスクをプレーヤーに入れます。(または Windows OS の ISO ファイルを USB ディスクにコピーし、そして HMI に挿入します。)
2. 起動する時にモニターの中央を長く押してから、装置を選択します。(または USB キーボードを接続し、起動する時に F5キーを押します。)

## 7 起動/シャットダウンの手順

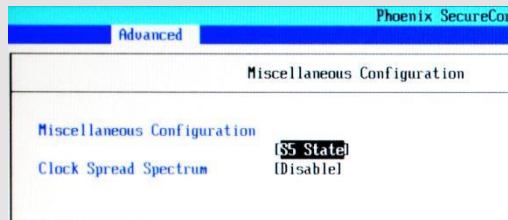
### 起動の手順

BIOS設定画面で、電源を入れると自動的に起動する/電源を入れた後、電源ボタンを押してから起動する、この2つの選択があります。

BIOS \ Advanced \ South Cluster Configuration \ Miscellaneous Configuration \ State After G3:

S0 State: 電源を入れると自動的に起動する

S5 State: 電源を入れた後、電源ボタンを押してから起動する。



### シャットダウンの手順

シャットダウンしたい場合、まずは Windows にシャットダウンを選択するか、電源ボタンを押すかという方法が選択できます。

注意: 起動中の状態で、電源ボタンを押した後に実行する動作については、Windows Control Panel \ System and Security \ Power Options \ Change what the power buttons do で変更できます。

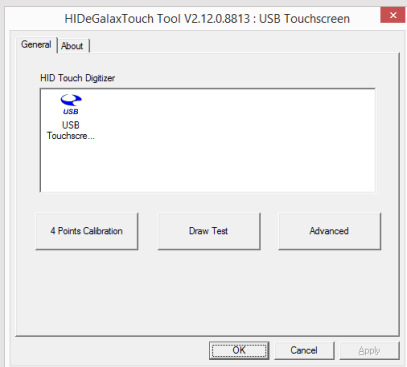
**!** 直接に電源を外したら、異常なシャットダウン行為になり、データの紛失に至らせます。

## 8 システムドライバ

Windows OS のインストールが完了後、順次にソフトウェア/ハードウェア関連のドライバをインストールしてください。ドライバは下記リンクを通じてダウンロードできます。

ダウンロードリンク: [http://www.weintek.com/Download/cMT/cMT\\_iPC15/driver/cMT\\_iPC15\\_driver.htm](http://www.weintek.com/Download/cMT/cMT_iPC15/driver/cMT_iPC15_driver.htm)

## 9 タッチ精度補正



HiDeGalaxTouch Tool を通じて、タッチ精度を補正することができます。

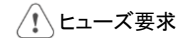
### 警告

製品を取り付ける前に、所在地及び国の電気標準を確認してください。詳細はご購入先にお問い合わせください。



#### 電源

タッチパネル式プログラマブル表示器は直流(DC)電源のみ対応します。規定した直流電圧範囲は24±20% Vです。多数の直流給電システムに対応します。製品内部の電源調節回路はスイッチング電源で、突入電流ピークは4Aまでです。



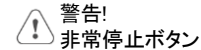
#### ヒューズ要求

製品通電後五秒間以内に表示が出ないと、すぐ電源を切ってください。ヒューズは電極が逆に接続してしまった時に保護作用を出します。接続が正確になった場合のみ通電します。



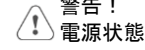
#### 警告! 高圧

製品内部のヒューズは電圧が高すぎる場合に保護作用を出しますが、内部にある電子部品が壊れないことが保証できません。直流電源をメイン交流電源と絶縁すること。



#### 警告! 非常停止ボタン

ICS現場指揮システムに従うため、タッチパネル式プログラマブル表示器を使用する制御システムには非常停止ボタンを設置すること。



#### 警告! 電源状態

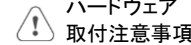
タッチパネル式プログラマブル表示器と誘導性負荷(電磁スイッチや電磁バルブなど)或いはコントローラの入力回路に電源をシェアしないでください。注意:コントローラが提供した直流24V出力電源が表示器の稼働に満足できない場合があります。



#### 警告! 配線方式

- A. 直流電源のケーブルはできるだけ短いほうがよい(Max:500m(シールドケーブル)、300m(ツイストペアケーブル))。
- B. 電源線や信号線をツイストペアケーブルに使用することがお勧めです。またインピーダンスマッチングが必要です。
- C. もし電源ケーブルが稲妻や雷撃がある環境に設置する場合、必要な避雷処置または避雷装置を取ること。
- D. ACケーブルや高エネルギーで高速スイッチングのDCケーブルを信号線に近づかないこと。
- E. 接地していない直流電源の負極とアースの間に、抵抗器とキャパシタを設置することで静電気や高周波干渉を消散します。一般には1M Ohm、4700 pFを推奨します。

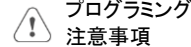
### 危険



#### ハードウェア 取付注意事項

システムの設計者は制御システム内の設備の故障で不安な要素を起こし、また操作インターフェースで発生した電氣的な干渉が設備を起動する可能性があり、それによってある程度の損害や操作人員の身の安全に脅す恐れがあるのを熟知すること。もしご使用のPLC制御システムに現地での操作が必要な場合、安全上のリスクを理解するうえ、予防処置を取ること。

設計されたプロセスはご要望の応用に基づいて作成したものの、ソリッドステートプログラマブルコントローラ取付の通用予防事項を充分注意すること。この予防事項は NEMA ICS 3-304コントロール標準に掲載したコントローラ取付規制に従うこと。



#### プログラミング 注意事項

ICS現場指揮システムに従い、それに操作人員の身の安全を守るため、プロセス中で工場或いは設備の危険部品を制御する書き込み可能なレジスタに安全制限があり、制限を超えたら設備が安全で自動的に非常停止になるのを確認すること。

GMJCIP150\_cMT-iPC15\_Installation\_161018

### 制限付保証

Weintek は、製品に製造または設計で欠陥がないことを保証します。

証明された不具合品をメンテナンスまたは交換いたします。但し、下記状況を除外します。

- (a) 12ヶ月の保証期間を超えた場合(プログラマブル表示器出荷月から起算する)。
- (b) 天然災害、不可抗力、ユーザーマニュアルの規定を守っていない操作、不適切な使用で損害を起こした場合。
- (c) Weintek の授権を得ていない状況で行った製品へのメンテナンス、変更または分解をした場合。
- (d) 製品シリアルナンバーが不正であり、または破損して判別しにくい場合。